

優しさ

村馬市立豊玉中学校三年

村瀬 美結

私は、今年改めて祖母、祖父の大切さに気付かされました。私は以前まで祖母、祖父とは、親しい関係ではありませんでした。

しかし、今年総合の時間で、福祉体験を行いました。そこには、たくさんの高齢者の利用者さんがいました。私も実際に介護伝導師さんの話を聞いたり、車椅子体験をしたりし

て、介護や福祉について興味が湧きました。また、利用者の方々と会話をしてみても、人生の中で大切な知識や、人生の選択肢について考え、学ぶことができ、実りのある一日になりました。

この経験を活かして、二つ私は人や自分へ対しての考え方が変化しました。以前までの私だったら、きついことがあったら、マイナス発言ばかりしていたけど、現在の私なら、仲間がマイナス発言をしているときこそ、進

んでプラス発言をすると、全員できついことを乗り超えられました。

二つ目は、祖母、祖父に対する変化です。

私が一番変化したと思うことは、「優しく

です。なぜならば、祖母は何度も同じことを

聞きかえしてきます。以前まで面倒で聞き流

していたけど、今は、同じ内容のことを何度

も聞かれても、その都度しっかりと伝わるよう

に最後まで優しく接することできています。

私は、介護体験ツアーを行ったことで、人

に接する態度が変化しましたと思います。これか

らの社会は、子ども高齢化の世界になり、私達

が祖母、祖父のお世話をやらないといけませ

ん。しかし、以前の私のように高齢者の方々

に冷たく接する人もいるかもしれません。こ

のような状況を減らすために、これからも、

授業の一環で介護体験をしてみたり、地域で

高齢者の方と交流したりする機会を作ってみ

ると、最終的に私共のために、祖母や祖父に对

する態度も変化していくと考えます。また、

このような状況を作るためにも、たくさん  
人の力が必要とされます。まずは地区で交流  
したりなど、人と人とのふれ合いの場を設け、  
交流の視野を広げて、全員が過ごしやすい環  
境になれば良いと思いました。